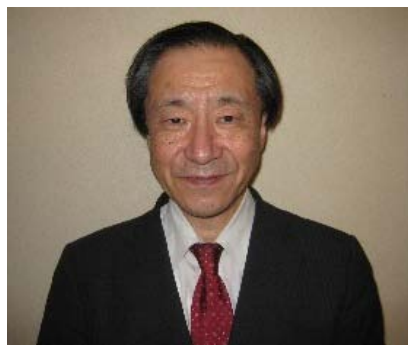


第4回日本小児へそ研究会のご挨拶



拝啓

時下、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、第4回日本小児へそ研究会を開催させていただくことになりました。会期は平成30年4月5（木）～7日（土）の第118回日本外科学会学術集会（國土典宏会頭）の期間中の6日午後開催する予定です。会場は東京国際フォーラムです。

第1回～第3回の本研究会は、第115回～第117回日本外科学会定期学術集会の期間中に開催されました。今回も第118回日本外科学会定期学術集会会頭の國土典宏会頭先生のご厚意により、日本外科学会開催期間中に開催する運びとなりました。

本研究会は、小児のへそに関するすべての話題について討論するいい機会です。発起人や歴代会長や参加者のご尽力により年々参加者が増加しています。

今回は、テーマを「臍のわをもって尊しとなす」としました。特に臍輪の議論が継続していますので、宿題報告として「臍輪の定義について」をとりあげます。また、近年、腹腔鏡手術の症例が増加しておりますが、腹腔内手術の視野や術後の整容性など考慮して臍の理想的なポートについても議論できると面白いと思います。また臍炎や臍カテからの肝前性門亢症なども対象に考えてもいいと思います。臍に関する演題を広く募集しますので奮って参加してください。

現在、この研究会の成果として、濱田先生と土岐先生と奥山先生との共同企画でメジカルビュー社から「臍の外科」の出版準備を進めています。こちらもこの研究会の時期に合わせて出版する予定ですのでみなさまお楽しみにしてください。執筆者の先生方はどうぞよろしくお願ひします。

なお第4回日本小児へそ研究会と東京大学小児外科の共催で東京風の懇親会を藤代先生が企画してくれる予定ですので、みなさまそちらのほうも楽しみに参加してください。

ではよろしくお願ひします。

平成29年10月吉日

第4回日本小児へそ研究会 会長
九州大学大学院小児外科学分野 教授
田口 智章

第4回日本小児へそ研究会幹事会

日時：平成30年4月6日（金）10：00～11：00

（第118回日本外科学会定期学術集会 第2日目）

会場：東京国際フォーラム ガラス棟 4F G404

第4回施設代表者会議

日時：4月6日（金） 11：00～11：30

会場：東京国際フォーラム ガラス棟 4F G405

第4回日本小児へそ研究会

日時：平成30年4月6日（金）15：40～17：50

会場：東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610（第13会場）

第4回日本小児へそ研究会
演題募集内容および投稿方法について

【日時】2018年4月6日(金)15:40～(予定)

【場所】東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

【テーマ】「臍のわをもって尊しとなす」

【演題募集内容】

- ・臍輪の定義
- ・腹腔鏡手術における我々の臍ポート挿入法
- ・臍炎や臍帯静脈カテーテルによる肝前性門亢症

その他、臍に関する演題を広く募集します

【演題募集要項】

演題募集期間：2017年11月1日(水)～~~30日(木)~~ 12月14日(木)まで延期

抄録は指定のテンプレートの1ページ以内(発表者、所属機関名、抄録文、写真すべて含めて)におさめて下さい。

投稿方法：電子メールでの投稿となります。HP上のテンプレート(MS-Word)をダウンロードして作成してください。(<http://www.pedsurg.med.osaka-u.ac.jp/heso-ken/>)

*投稿の際には「所属機関名、部門名」は正式名称でご入力願います。また、テンプレートのファイル名称は筆頭演者名(例：昭和太郎.doc)を記載して下さい。

投稿先メールアドレス：hesoken4@med.kyushu-u.ac.jp

発表方法：PCによるプレゼンテーションとなります。

【受領通知】

受領通知は、投稿時に使用されたメールアドレス宛に送信いたします。

メールが届かない場合や抄録が送信できない場合は下記学術集会運営事務局までお問合せください。

はがき等での投稿受領通知は行ないませんので、ご了承ください。

【応募演題の採否】

応募演題の採否、発表形式、発表順等は会長に一任させていただきます。

【参加申し込み】

申し込み方法：当日会場受付にて参加費をお支払いください。

会員参加費：3,000円

【研究会運営事務局】

九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野

担当：宗崎 良太

住所：〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

電話：092-642-5573 FAX：092-642-5580

E-mail：hesoken4@med.kyushu-u.ac.jp

プログラム

15:40～15:45 開会の辞

15:45～16:21 セッションⅠ 臍ヘルニア

- 座長 四国中央病院小児外科 大塩猛人
飯塚病院小児外科 中村晶俊
1. 臍ヘルニアに対するスポンジ圧迫療法中断因子の検討
昭和大学医学部外科学講座小児外科学部門 大澤俊亮
 2. 乳児臍ヘルニア圧迫療法による医原性嵌頓発生の危惧
公立学校共済組合四国中央病院小児外科 大塩猛人
 3. 梶川法による臍ヘルニア再手術の経験
岡山大学病院小児外科 尾山貴徳
 4. 新規圧迫材を使用した乳児臍ヘルニア圧迫固定療法の経験
飯塚病院小児外科 中村晶俊
 5. 一期的臍形成術を行った尿膜管癒合併臍ヘルニアの1乳児例
北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅰ 荒 桃子
 6. 臍弧状切開術後臍突出症に対する臍形成術
北里大学病院小児外科 田中 潔

16:21～16:57 セッションⅡ 臍ポート挿入法

- 座長 大阪大学大学院小児成育外科 奥山宏臣
自治医科大学小児外科 小野 滋
7. 臍索を温存した臍部ポート挿入法
飯塚病院小児外科 河野 淳
 8. 腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術におけるカメラポート挿入法の検討
あいち小児医療保健医療総合センター小児外科 岡本眞宗
 9. 腹腔鏡手術における当科の臍ポート挿入法—多孔式と単孔式について—
大阪赤十字病院小児外科 高田斉人
 10. 小児腹腔鏡手術における当科での臍ポート切開法
九州医療センター小児外科 甲斐裕樹
 11. 細径スコープ使用時の initial port 挿入方法 — needlescopic surgery
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児外科 諸富嘉樹
 12. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術における臍部錨型切開についての検討
自治医科大学小児外科 關根沙知

16:57～17:42 セッションⅢ 臍輪の定義

座長 貴島中央病院外科 濱田吉則
昭和大学小児外科 土岐 彰

13. 【keynote lecture】奥深い臍のいろいろ

慶應義塾大学医学部形成外科 坂本好昭

14. 臍輪の定義について

埼玉医科大学小児外科 寺脇 幹

15. 臍輪横径の定義 — 術前術後の臍形態評価のための臍輪横径比較の必要性

広島市立広島市民病院小児外科 佐伯 勇

16. 日本小児外科学会雑誌における「臍輪」の使用状況—他誌との比較—

兵庫医科大学小児外科 大植孝治

17. 総合討論

17:42～18:18 セッションⅣ その他

座長 京都府立医科大学小児外科 田尻達郎
金沢医科大学小児外科 河野美幸

18. 臍ポリープの2例

金沢医科大学病院 小児外科 木戸美織

19. 胎児期に臍帯嚢胞を指摘され出生後に尿膜管開存と診断された1例

久留米大学外科学講座小児外科部門 愛甲崇人

20. 女子大生が抱える「臍コンプレックス」の現状：アンケート調査から（第2報）

北海道教育大学札幌校 養護教育専攻医科学看護学分野 岡田忠雄

21. 腹腔鏡下に修復した白線ヘルニアの3例

大阪大学大学院小児生育外科 塚田 遼

22. 腹腔鏡下 IPOM (Intraperitoneal onlay mesh) による修復を行った幼児腹壁癒痕ヘルニアの1例

京都府立医科大学小児外科 井上真帆

23. 先天性十二指腸閉鎖症に対する臍輪切開法の治療成績

福島県立医科大学附属病院 小児外科 清水裕史

18:18～18:36 セッションⅤ 腹壁破裂/臍帯ヘルニア

座長 東京大学小児外科 藤代 準

24. 腹壁破裂・臍帯ヘルニアに対する当院の臍形成術の工夫

社会医療法人母恋天使病院小児外科 佐藤 彩

25. 内視鏡補助下腹壁形成術を施行した巨大臍帯ヘルニアの2例

順天堂大学小児外科・小児泌尿生殖器外科 石井惇也

26. 臍帯癒痕形成による根治術を施行した Hernia into the umbilical cord の1例

九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 小幡 聡

18:36～18:41 次期会長挨拶 東北大学小児外科 仁尾正記

18:41～18:46 閉会の辞 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 田口智章